

令和2年第12回名取市教育委員会定例会 会議録

1 会議の年月日

令和2年12月23日（水）

2 会議の場所

仙台法務局名取出張所2階 会議室1

3 出席委員

教育長 瀧澤 信雄

教育長職務代行委員 佐藤 俊隆

教育委員 浅野 かおる

教育委員 洞口 ひろみ

教育委員 荒井 龍弥

4 欠席委員

なし

5 説明のために出席した者

菊池教育部長、鈴木理事兼学校教育課長事務取扱、大友教育部次長兼教育総務課長、大澤生涯学習課長、小松文化・スポーツ課長兼復興ありがとうホストタウン推進室長兼市史編さん準備室長、齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐、宇田教育総務課主幹兼教育総務係長

6 議事日程

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 教育長報告

(1) 一般事務報告

(2) 行事予定

日程第4 専決事務報告

(1) 個人情報保護制度に伴う行政文書の開示決定等にかかる審査請求の諮問について（その1）

(2) 個人情報保護制度に伴う行政文書の開示決定等にかかる審査請求の諮問について（その2）

日程第5 議事

議案第21号 名取市教育振興基本計画について

7 開会時刻

午後 2 時 00 分

8 会議の概要

瀧澤教育長

ただいまより令和 2 年第 12 回名取市教育委員会定例会を開催いたします。

はじめに、日程第 1 前回会議録の承認についてですが、11 月 15 日開催の第 2 回臨時会及び前回 11 月 26 日開催の第 11 回定例会会議録については、先日、各委員宛配付済みであります。この内容について、ご質疑等ありませんか。

全委員

なし

瀧澤教育長

なければ、承認といたします。

次に、日程第 2 本日の会議録署名委員に佐藤委員並びに洞口委員を指名いたします。よろしく願います。

次に、日程第 3 教育長報告、(1) 一般事務報告ですが、まず私から新型コロナウイルス感染症対応について報告させていただきます。別資料の教育長報告をご覧ください。まず、(1) の名取市の児童生徒・教職員の感染者発生状況ですが、今日現在で児童生徒 17 名、教職員が 1 名です。最近では家族が感染し、濃厚接触者として PCR 検査を受ける件数がかかり多いのですが、11 月 26 日以降はすべて陰性となっております。

(2) 成人式ですが、最近新聞報道でも、成人式の開催について延期等のニュースが出ております。名取市は現時点では、別紙のとおり開催する方向で準備を進めております。3 ページをご覧くださいと思います。本日午前中に行われた定例記者会見の資料をそのまま載せておりますが、1 月 10 日(日)、第 1 部午前 11 時、第 2 部 13 時と 2 部に分けて開催するということになっております。また、内容については、国歌斉唱は歌わない、写真撮影は座席に居たまま、ステージ上より撮影するなど、いくつか簡略化をして実施予定です。また、首都圏等から来られない成人のために、ライブで同時配信する予定としております。

成人式については、今月の 25 日と 1 月 4 日に、教育部内で再度いろいろな状況を勘案して開催ができるかどうかの判断をしたいと思っております。1 月 4 日には市長にもお話をした上で最終判断をしたいと思っておりますが、1 月 5 日ごろに、対象者全員にはがきで通知を出す予定としております。内容としては、予定どおり開催はするが、国が緊急事態宣言を出した場合は中止になることなどの内容となります。万が一中止となった場合は、ホームページで市長と市議会議長の挨拶のメッセージ、これは収録済みですが、これをアップします。また、会場に、撮影スポットを何か所か設けることとなっております。なお、資料にありますとおり、新聞報道によると、中止や延期を決めた自治体は登米・栗原・気仙沼・大崎と、仙

北の方が多いようです。仙台市は今のところ開催、緊急事態宣言が出たら中止ということ郡市長が話しております。教育委員の皆様にもご出席をお願いしておりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(3)の小・中・義務教育学校の卒業式についてですが、これも別紙資料の4ページをご覧いただきたいと思ひます。先日、校長会役員会を開催し、実施の方向性ということを確認しました。主なところをお話しますと、①の予防対策では、1m以上の間隔を空けて椅子を配置する、校歌等を歌う時にもマスクを着用するなどです。②は、規模を縮小することです。保護者の参加は、児童生徒1人につき1~2名、在校生は参加しない、来賓はPTA役員と市長のみとする、市長は今回は第一中学校と増田西小に出席する予定です。証書授与については、代表受領も考慮するということですが、校長先生はやはり一人一人に渡したいという想ひが強いようです。④の式場ですが、体育館を使用し実施します。下の表は、アリーナの面積と収容人数の表になりますが、卒業生と保護者2人が参加することとしての人数が表中の「卒業生×3」の人数になります。増田中学校が717人になります。アリーナの面積を1㎡で割った収容人数が、増田中学校の場合は842人となり、717人には教職員が入っておりませんので、50人に入ったとしても770人程度になり、ぎりぎりになるため、増田中学校については名取市民体育館を利用して卒業式を行うこととして、準備を進めております。教育委員の皆様にも、小学校・中学校、義務教育学校へのご出席をお願いすることになりますので、どうぞよろしくお願ひします。

それでは、教育部長からお願ひします。

菊池教育部長

私からも、新型コロナウイルス感染症関係の報告をさせていただきます。別紙資料を準備しておりましたのでご確認ください。第41回の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が、12月4日に行われておりました、お二方の感染の情報が出ております。それ以降の本部会議の開催はありません。公共施設や学校関係の関係者がいないことからです。また、本日までの最終状況としては、市内では77例目までの感染者が確認されております。先ほど教育長から報告を申し上げたとおり、学校関係では最近陽性は出ておりません。本日の77例目の方のお子さんも、児童がおりましたが陰性でした。そのため、学校の休業や消毒関係はありません。以上となります。

議案書に戻っていただき、2ページ・3ページをお開きください。私からは12月2日から14日までの会期で行われた12月定例市議会について報告いたします。

まず、教育委員会関係の一般質問です。

今回は5名の議員から11件の質問がありました。11件のうち、併せて市長から答弁を求められた質問が2件ありました。一般質問の内容ですが、本日資料お手元に「通告書と答弁書」を配付しております。ページをめくっていただき、通告書で網掛けになっている箇所をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策に関連して、「市内小中義務教育学校の水道蛇口を非接触型にすべき。」について、名取市自死対策計画に関連して、「学校におけるSOSの出し方に関

する教育の取組」について、「交通安全のための施策について」、「ICT教育の推進と課題について」、農林水産業の振興に関連して、「学校給食における地場産品の利用状況について」、避難所運営における防災体制の強化に関連して、「第二中学校で開催された総合防災学習講演会」についてであります。これらについては、適宜、答弁書のとおり回答しております。その内容については、後でご覧をいただきたいと思っております。

次に、前回の定例会にて承認いただいた補正予算につきましては、原案のとおり議決されております。私からは以上です。後は、各課からの報告となります。

瀧澤教育長

教育総務課をお願いします。

大友教育部次長兼教育総務課長

教育総務課からは特にありません。

瀧澤教育長

学校教育課をお願いします。

鈴木理事兼学校教育課長事務取扱

学校教育課からも特にございません。

瀧澤教育長

生涯学習課をお願いします。

大澤生涯学習課長

生涯学習課から2点ご報告いたします。

1点目は、3ページ28番の市民大学講座についてです。この講座は、大学等の高等教育機関と連携した生涯学習機会の提供事業として尚絅学院大学と委託契約を締結し開催したもので、12月12日の講座をもって全4回の講座を終了しました。受講者アンケートの結果によりますと、この講座の参加延べ人数は52名で、性別の割合は、男性が22パーセント、女性が78パーセントと、女性が約8割を占めていました。年齢については、60代が28パーセントと一番多く、次いで40代が24パーセントでした。講座の満足度につきましては、「大いに満足」が52パーセントと一番多く、次いで「大体満足」が40パーセントで、受講生の9割以上が満足と回答する結果となりました。

2点目は、3ページ34番の下増田公民館・下増田児童センター合築に関する懇話会についてです。下増田公民館と下増田児童センターを合築した複合施設の整備について、下増田地区の皆さんから意見を聞き、建設計画の参考とするため、第1回目の懇話会を12月18日、下増田公民館において開催しました。当日は、公募委員4名を含む31名の委員中23名の皆さんにご出席いただき、市が考えている施設の概要を説明した後、グループごとに委員の皆さんが

考える公民館等について意見を集約し、発表し合うことによって全体の共有を行いました。会議ではこのほか、1月に行うアンケート調査についてご協議いただきました。懇話会は今後5回の開催を予定しており、次回は1月20日に関連施設の現地視察を行う予定です。

生涯学習課からは以上です。

瀧澤教育長

文化・スポーツ課、復興ありがとうホストタウン推進室、市史編さん準備室お願いします。

小松文化・スポーツ課長兼復興ありがとうホストタウン推進室長兼市史編さん準備室長

3ページの29番、36番になります。12月12日土曜日と19日土曜日に、9時30分から、歴史民俗資料館においてまが玉づくり体験を開催いたしました。

37番ですが、12月20日(日)まで、歴史民俗資料館で、第2回の企画展を開催しました。山岡古墳のお宝ということで、委員さんにもご覧いただきました、頭椎太刀(かぶつちのたち)などを展示しております。

以上、文化・スポーツ課関係です。

瀧澤教育長

それではただいま報告のあった内容につきまして、ご質疑などありましたらお願いします。

全委員

なし

瀧澤教育長

なければ、承認といたします。

次に、(2)行事予定について説明をお願いします。

菊池教育部長

それでは、資料は4、5ページになります。私からは特にありませんが、次回の定例会、臨時会及び懇話会の日程につきましては、後の協議の際にお願いします。あとは、各課から報告をさせていただきます。

瀧澤教育長

教育総務課お願いします。

大友教育部次長兼教育総務課長

1点説明いたします。5ページ37番の1月22日(金)に開催が変更となった、夢サポート事業についてです。先月の定例会でも開催の延期についてご説明いたしておりますが、その後、開催の日程や開催方法について決まりましたので、その内容についてご説明いたします。今

回は、新型コロナウイルス感染症の対応を考え、会場を文化会館から閑上小中学校に変更し講演会を開催しますが、他の、増田、第一、第二、みどり台の各中学校には、会場地から学校間のオンラインでライブ配信を行い、生徒は教室のモニターを通し講演会を見ることとなります。なお、教育委員の皆様には、年明けとなりますが、あらためて講演会の開催についてご案内を差し上げますので、ご出席賜りますよう、よろしくお願いいたします。

教育総務課からは、以上となります。

瀧澤教育長

学校教育課をお願いします。

鈴木理事兼学校教育課長事務取扱

学校教育課からは1点追加をお願いいたします。

1月25日(月)、情報担当者会及びiPad活用研修会を増田公民館で行います。これは、11月25日にゆりが丘小学校を会場に行う予定のものでしたが、近隣のみどり台中学校で陽性者が出たことから、見送りとしたものでございます。今回は授業を直接見ることはできませんが、当日11月25日にゆりが丘小学校で授業を行った様子のビデオを見て、それを元にiPad活用研修をする予定です。

以上です。

瀧澤教育長

生涯学習課をお願いします。

大澤生涯学習課長

それでは、生涯学習課から4点ご説明いたします。

1点目は、4ページ5番のジュニア・リーダー上級研修会についてです。お手元の資料では会場を蔵王自然の家としておりましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から宿泊研修を取りやめ、会場を県庁講堂に変更して開催されることとなりました。なお、本市から1名のジュニア・リーダーが参加予定となっております。

2点目は、4ページ6番と10番から19番の各地区新春のつどいについてです。令和3年新春のつどいにつきましては、新型コロナウイルス感染症の関係で、市内全地区において開催中止となっております。

3点目は、20番の令和3年名取市成人式についてですが、詳細については先ほど一般事務報告の中で教育長から説明がありましたので、説明は省略いたします。

4点目は、5ページ33番についてです。先ほど、行事報告の中でもご説明しましたとおり、下増田公民館・下増田児童センター合築に関する懇話会第2回目を1月20日に開催し、関連施設の現地視察を行う予定としております。

生涯学習課からの説明は以上です。

瀧澤教育長

文化・スポーツ課、復興ありがとうホストタウン推進室、市史編さん準備室お願いします。

小松文化・スポーツ課長兼復興ありがとうホストタウン推進室長兼市史編さん準備室長

初めに文化・スポーツ課分で、4ページ9番になります。1月9日(土)から3月28日まで、歴史民俗資料館におきまして、第3回企画展「令和元年度発掘調査報告展」が開催されます。それに関連いたしますが、5ページ44番になりますが、1月30日土曜日に令和元年度発掘調査成果についてと題しまして、第2回目の歴史講座を13時30分から歴史民俗資料館で開催いたします。

27番です。1月18日(月)に、第1回文化振興懇話会を14時から開催いたします。

次に、復興ありがとう・ホストタウン推進室関係になりますが、4ページ21番・22番になります。1月11日(月)、12日(火)、復興ありがとうホストタウンのPR動画撮影を行います。市内の名所旧跡を自転車で巡りまして、撮影を行うこととしております。

最後に26番になります。1月17日(日)復興ありがとうホストタウンの連絡協議会、第3回総会及び第2回復興ありがとうホストタウンサミットを15時から仙台国際センターで開催される予定となっております。昨年度は副市長出席でしたが、今回も市長または副市長出席予定となっております。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対応として、現在オンラインに変更される案が検討されております。

以上、文化・スポーツ課及び復興ありがとうホストタウンからになります。

瀧澤教育長

私から補足します。市内の小・中・義務教育学校は本日が終業式で、明日から冬季休業に入ります。4ページ7番にありますように、本年度は冬季休業を3日間短縮しておりますので、1月5日が始業式と予定しております。

それでは、ただいま説明のあった内容について、ご質疑等あればお願いします。

佐藤教育長職務代行委員

夢サポート事業ですが、オンライン配信ということで、新しい試みがうまく行ってほしいと思うのですが、閑上小中学校の子供たちは8年生だけが聞くということでしょうか。

大友次長兼教育総務課長

はい。8年生のみ30人ほどです。

佐藤教育長職務代行委員

そうなのですね。もったいないような気がします。

瀧澤教育長

講堂に間隔を取って聴いていただくこととしております。また、先生たちや私たちも入る

ことになります。

他にありますでしょうか。

全委員

なし

瀧澤教育長

なければ承認といたします。

次に、日程第4 専決事務報告に入ります。

専決事務報告(1)「個人情報保護制度に伴う行政文書の開示決定等にかかる審査請求の諮問(その1)」及び、専決事務報告(2)「個人情報保護制度に伴う行政文書の開示決定等にかかる審査請求の諮問(その2)」については、個人情報に関連する議案でありますので、名取市教育委員会会議規則第7条の規定に基づき、秘密会議にしたいと思います。ご異議ありませんか。

全委員

なし

瀧澤教育長

異議なしと認め、これより秘密会議といたします。

(秘密会議部分は別途調製)

日程第5 議事に入ります。議案第21号名取市教育振興基本計画についてを議題といたします。それでは、教育部長、説明をお願いします。

菊池教育部長

議案第21号ですが、議案書は、8ページです。また、別冊資料として、「最終案」と「概要版案」を配付しております。

今までの計画案の策定経過ですが、5月29日の総合教育会議の審議後に、市役所内関係部課の庁内調整とパブリックコメントを実施してきました。その修正案については、11月5日に開催しました第6回教育振興基本計画策定委員会で報告し、承認を得ております。そして、本定例会にあたり市長決裁を得て、上程に至っております。

修正内容・策定委員会の意見等については、担当課から説明させますので、よろしく願います。

瀧澤教育長

教育総務課長

大友教育部次長兼教育総務課長

それでは、私から今までの計画の策定経過を中心に説明してまいります。

本日配付の計画案 47 ページ、48 ページをお開きください。このページは計画の策定状況を表しています。47 ページは、教育振興基本計画策定委員会の開催状況ですが、令和元年度と令和 2 年度に合計 6 回開催しました。48 ページは教育委員会・総合教育会議での審議状況になります。

令和 2 年 6 月 22 日の教育委員会での協議のあと、本日の定例会を迎えたわけですが、この間の作業は、市役所内部の庁内調整を、7 月 1 日から 1 か月間実施しました。市長部局のことも支援課などの意見も踏まえ、今回の計画案をまとめています。

次に、パブリックコメントの実施と結果ですが、同じく 48 ページの 2 段目をご覧ください。先ほどの教育部長の説明にもありましたが、市が策定する計画については、市民に広く意見をいただく機会を設けなければならないことから、48 ページ下段にあるとおり、パブリックコメントを 9 月 24 日から 10 月 23 日までの 1 か月間実施しました。市の広報紙やホームページで広く市民に周知、市政情報センターで閲覧に供しておりましたが、意見などはありませんでした。

次に、前回、6 月以降に修正しました修正箇所については、齋藤から説明をさせます。

瀧澤教育長

それではお願いします。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

私からは、修正事項を説明させていただきますが、全体的に各ページの空きスペースを活用して、必要に応じて、写真・図・グラフなどを適宜挿入していることをあらかじめご理解いただきたいと思います。

8 ページ 「(2) 急速な技術革新と教育環境の変化」です。上から 9 行目の「また～」になりますが、新型コロナウイルス感染症にかかる記述を追加しております。策定委員会において、急激に変化する新型コロナウイルス感染症の影響を入れるべきとの意見から追加したものです。

20 ページから 22 ページになります。「7 つの目標と 29 の施策」について、目標の施策の方向（ターゲット）、主要施策、今後の方針・取り組みを一覧にまとめたものを掲載しました。19 ページの全体体系と併せて読んでみると、より一層、全体体系がわかりやすくなると思います。策定委員会の意見を参考にしました。

26 ページ「1-3 防災教育の充実」の、【今後の方針・取り組み等】の、2 つ目の項目になりますが、「学校、家庭、地域との連携をさらに深め、地域防災訓練への関わりを積極的に図り、地域の実態に応じた防災訓練をとおして防災教育の充実を進めます。」としましたが、修正前と趣旨は同じですが、表現を変えております。庁内調整のときに、意見があったことから、このように修正したものです。

同じく 26 ページ、「1-4 地域特性を生かした教育の推進」の【今後の方針・取り組み等】の 2 つ目の項目ですが、「地域の特性を活かし、地域とともにある学校づくり、コミュニティ

スクール（学校運営協議会制度）導入の検討を行います。」を追加しました。昨今の国・県の方針を踏まえ「学校運営協議会制度の導入の検討」を規定したものです。

また、その下の「・名取らしさのある地域学校協働活動を推進します。」は、「郷土を愛する心が育まれる」を削除し、元に戻した形にしました。

33 ページになりますが、「3-4 健全な育成環境づくり」の【今後の方針・取り組み等】で四つ目の項目ですが、「・公共施設等での放課後学習や体験学習の実施について検討します。」を追加していますが、庁内調整時に、要望をいただいたものです。

45 ページ以降は、資料編になります。

45 ページは、策定委員会の設置要綱の全文、46 ページは策定委員名簿、47、48 ページは策定委員会の開催状況などは、先ほど説明をしたとおりです。

49 ページは、策定委員会審議に参考とした資料名の一覧を掲載しております。

50 ページは、教育・学習の教育機関・施設の一覧を掲載しました。

最後に、「その他」の事項になりますが、概要版の作成について報告させていただきます。先般の策定委員会でご意見があったところですが、教育振興基本計画の概要版についても作成を進めております。

本日、A4 判で、全部で 8 ページの「概要版案」をお示ししております。これら写真など加え完成させていきたいと思いますが、概要版は、公民館などの学習施設に送付し、広く市民の目にとまるところに置いてもらい、教育振興基本計画を周知していきます。

また、計画の表紙・裏表紙についてです。写真を使用するなどいろいろ模索してきましたが、このイラストを加工して使用したいと考えております。この絵は、名取の教育が目指す「将来の姿」を描いたものです。市民全体が輪になってひとつになった状況を描いておりますが、中学生は、実際の市内中学校の制服を描いております。また、地域のサークルに参加し、芸術文化・スポーツなどに親しむ市民も、名取で実際に活動している方々を参考に、子育て世代から高齢者までひとつになって活動している姿を「大きな輪」として描きました。

多くの皆さんに、このパンフレットを手にとってご覧いただきたいと思い、親しみのある表紙したいと考えております。

以上となります。

瀧澤教育長

ただいま説明のありました内容について、質疑・ご意見等ございませんでしょうか。

荒井委員

基本計画の中に、小一プロブレム、中一ギャップ、という言葉がありますが、国立教育政策研究所のホームページを見ていたら、中一ギャップというものは実は検証されていないというような、俗説であるというようなことが書かれておられて、そうなのか、と思いました。よく使われる言葉だけれども、実はそういうことはなくて、そもそも、中一ギャップと言われる現象は、小学校の段階に原因があり、中一になったときに出てくるに過ぎない、というような意見でした。巷では使われている言葉なのですが。

瀧澤教育長

私もよく使っている言葉ですが、現象として、中一で単に不登校が増えるということだけではありませんが、教科担任制、学級担任制、大きな制度の変わり方で、子供たちにとっては急激な学校生活の変化、という意味合いで使われることもあるので、必ずしも中一ギャップという言葉を使うことがふさわしくないというところまでのご意見でしょうか。

荒井委員

一般的に使われる言葉です。ただ、俗説だとか、実際に現れることは違うんだ、という指摘があるのであれば、かぎ括弧付きぐらいにしておくのがいいのかとも思いました。

瀧澤教育長

では、そのあたりの内容をこちらでも確認させていただいて、何らかの検討をして、場合によっては今お話の合ったようなかぎ括弧付きにするのか、小一プロブレムも含め、検討したいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

荒井委員

よろしく願いいたします。

瀧澤教育長

ありがとうございます。そのほかありますでしょうか。

洞口委員

こちらの概要版ですが、2020～2030年となっておりますが、今年度中には出来上がるということでしょうか。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

本体が出来上がるのと同時に概要版も作成する予定となっておりますので、2020年度からという形になります。

洞口委員

概要版については、写真等がもう少し入るのでしょうか。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

余白がありますので、そこに入れ込みたいと思います。

瀧澤教育長

内部でも検討しましたが、文字だけなので、学校教育、生涯学習に関するような写真を一

つつつ入れるとか、文化・スポーツに関する写真を入れるなどしていきたいと考えており
ます。

洞口委員

SDGsについて、頭文字一つ一つにSは何、Dは何、と意味がありますので、説明があ
れば分かりやすいのではないかと思います。私たちは5年ぐらい前から分かってはいますが、
その言葉は何、となった場合、開発目標はあるのですが、短縮された頭文字の意味が何なの
か分かれば、市民の方も分かりやすいのではないかと思います。

瀧澤教育長

概要版でない、基本計画の方には、SDGsについての説明はありますか。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

載せておりません。考えていなかった部分です。

瀧澤教育長

確かに、いろいろな方がこれをご覧になると思いますので、私もSDGsの認識が不十分
なところはあるので、そこも検討します。

洞口委員

全部で17項目ある中の1部ですので。全部載せるのか、教育部分だけを載せるのか、そ
ちらはご検討ください。

瀧澤教育長

そのほかありますか

佐藤教育長職務代行委員

概要版の方ですが、見開きの一番上の文章は、全6ページを通しての文章なのですか。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

そのとおりです。目指す姿の中から抜き出した言葉で、全6ページを通しての文章になっ
ております。

佐藤教育長職務代行委員

工夫としては面白いとは思いますが、分かりにくいのではないのでしょうか。例えば、4、5
ページだと、「ふるさとを愛する心が生まれ、活力あるコミュニティが形成されたまちをめざ
します」となるのが普通だろうと思いましたが、次のページに続いているということでした
が、そこまで読んでくれる人がどの位いるのかと思います。

瀧澤教育長

普通は見開いて、このページで見るので、次ページに続いて読む、というのは確かに分かりづらいと思いますので、この各ページの上の文章は検討したいと思います。ここの見開きの2ページを上手く表した文章というように考えると、中身が変わってくるかもしれませんが。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

検討させていただきます。

瀧澤教育長

浅野委員何かありますか。

浅野委員

概要版の表紙は親しみやすくとてもいいと思いますが、どなたが描かれたのでしょうか。

瀧澤教育長

教育総務課の職員が描きました。全てを網羅しているわけではないのですが、名取に関わるような、あるいは振興基本計画に関わるような人物等が描かれております。

浅野委員

ジュニア・リーダー・サークルあにまるずなども入っているので、名取らしくてとてもいいと思います。

荒井委員

赤いスーツの男性の絵がありますが、どこかの制服でしょうか。

齋藤教育部企画員兼教育総務課長補佐

名取交響吹奏楽団の団員の制服です。その他にも、各学校の制服等も描かれております。

カラーコピーを繰り返しておりますので、色が変わっておりますが、製版した際には制服の色が分かりやすくなると思います。

佐藤教育長職務代行委員

楽器などを持たせると分かりやすかったかもしれませんね。

瀧澤教育長

それでは、そちらも含めて検討させていただきます。

他はいかがでしょうか。

それでは、今いただいた意見を踏まえ、検討させていただきますが、修正等については事務局に一任させていただいてよろしいでしょうか。場合によっては、ご意見いただいた通りの修正ができない場合もあるかとは思いますが、極力、委員の皆様のご意見を反映できるように事務局で検討させていただきたいと思えます。

それでは、議案第 21 号について、原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

全委員

なし

瀧澤教育長

異議がないものと認め、議案第 21 号は、原案のとおり承認といたします。

本日の議案は以上となります。

以上で本日の会議を終了いたします。

午後 3 時 25 分終了

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証するため、ここに署名する。

令和 3 年 1 月 28 日

署名委員 佐藤 俊隆

署名委員 洞口 ひろみ